

本質防爆 エア駆動式高圧洗浄機

工業およびサニタリー用途の過酷な清掃、メンテナンスに最適！



Hydra-Clean[®]

■ハイドラクリーン特長

- 本質防爆ですので、ガソリンや電気を使えない場所での洗浄用途に最適です。
- カートマウントタイプなので、洗浄機の移動が可能で広範な洗浄が容易にできます。
- 最高使用温度は90°C。多種多様の化学薬品への耐性があります。

主な用途

- 食品・飲料・医薬品各施設
- 製油施設
- 車両、バス、船舶洗浄

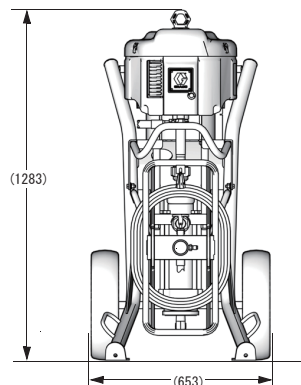


・仕様

モデル	高圧洗浄機 23:1	高圧洗浄機 30:1
型式*	247-551	247-553
製品番号	686926	686927
最大吐出量	34.7/min	25.9/min
最大吐出圧	15.7MPa	21.1MPa
重量	167kg	166kg

*60 サイクル/分

・寸法図



予備知識

「工場火災の恐ろしさ」「防火対策の取組の要約」とハイドラクリーン



① 工場で起こる最も恐ろしい事故とは火災である。

- ◆可燃物や爆発物に引火すると瞬く間に大惨事になってしまう。
- ◆高額な設備機器類の多くが焼失または機能停止・再生不能となる。
- ◆大量の化学物質や薬品へ引火し周辺へ甚大な環境汚染を及ぼす。
- ◆企業イメージの低下や被災者への保証等を含めると損失は、はかり知れない。

例)2017年2月に発生した、オフィス用品を扱う通販業者アスクルの物流センター火災があります。この火災事故は鎮火までに10日以上かかり、損害額は100億円以上と発表されました。この会社の前年度の営業利益は85億円だったので、約1.2倍もの特別損失となりました。火事は2017年2月16日午前、埼玉県三芳町にあった物流センター倉庫1階の端材置場で発生。爆発が起きるなどして消火活動が難航し、延べ床面積7万2000平方メートルのうち約4万5000平方メートルが焼け、鎮火したのは28日だった。原因：ダンボール置き場で回収作業用フォークリフトのマフラーが高温となりダンボール片に接触した事が出火原因と断定された。

② 工場火災の多くは設備・機器から発生している。火災3要素「酸素・可燃物・熱源」念頭に防火対策「火災の発生を防ぐこと」

- ◆設備・機器からの火花拡散防止
- ◆可燃物の置き場の見直し
- ◆工場内で使われている引火性液体を引火性の無い代替品等への変更検討

「火災発生時の損害拡大を防ぐこと」とは

「火災を制御する」「損害をこうむる可能性のある財物や人の量の制御」の二つ考え方から構成されます。

- ◆消火設備による初期消火活動や避難訓練
- ◆引火性液体や可燃性ガスの緊急遮断・緊急時における可燃物の除去や供給制御

③ 工場火災防止に向けた防火活動では、「経営層の強い関与」が非常に重要です。企業や工場の現場担当者が安全対策を講じようとしても、予算や人的資源に制約が存在したり、安全よりも利益を優先するような企業風土が残っていたりする状況では、十分な対策を講じることは期待できません。トップが安全を最優先する姿勢を示すとともに、安全対策のための適切な予算配分や設備投資、人的資源の投入を実施することで、安全および防火活動を強力に推進していくことが求められます。

④ エアードライブ式高圧洗浄機(ハイドラクリーン)の有効性

大手企業の工場では生産性の向上だけではなく、火災リスクを回避するための努力も十分しているはずですが、それを怠ってしまうと取返しのつかない事態が生じることを理解しているからです。

弊社はエアードライブ式高圧洗浄機が火災リスクを軽減させる事をユーザーや販売店に訴え、その有効性を認知してもらうことが重要です。また競合商品は皆無に等しいので、しっかりと理解されれば受注に繋がる可能性は非常に高くなります。

※ハイドラクリーンを提案しないことは互いにとってマイナスだと信じて疑わない事が重要です。